

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成29年12月26日

協議会名:阿賀町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿賀町生活交通確保計画の評価</li> <li>・住民ニーズ調査</li> <li>・既存バスの利用者特性調査</li> <li>・阿賀町地域公共交通網形成計画(案)作成</li> <li>・地域公共交通活性化協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・網形成計画における課題抽出や検証を行うために、町の概況や土地利用状況、交通実態、公共交通の利用環境等を整理した。</li> <li>・住民へのアンケートにより、外出の有無や外出目的別の目的地など行動範囲の把握とその移動手段としての公共交通の利用状況や問題点・改善要望を把握した。</li> <li>・公共交通を利用している方の公共交通の利用状況や問題点、改善要望を把握した。</li> <li>・アンケート調査や現状分析、関連計画の整理を行い、網形成計画(骨子案)を作成した。</li> <li>・これまで2回の協議会を開催し、アンケート調査の内容や結果、網形成計画(骨子案)について協議した。今後の協議会の検討を経て、網形成計画案として最終的に取りまとめる。</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施されている。 (平成30年3月策定予定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津川と各地域の中心部を結ぶ路線は、路線バス、福祉バス、スクールバス路線と重複していることから、これらの路線を統合し競合を解消する。</li> <li>・支線エリアの需要の少ない地域については、デマンド交通を導入する。</li> <li>・津川地域の中心部に主要な施設が集積しており、アンケート調査からも住民の移動実態も同様に中心部に集中し、2箇所以上の施設に寄る機会も多いことから、循環バスを導入し、域内の回遊性を高める。</li> <li>・確保維持改善事業の活用も検討する。</li> </ul>